



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和5年1月10日
発行者 校長 大野 良子

No. 378 1月号

～読書大好き！尾久西の子～

校長 大野 良子

新年、明けましておめでとうございます。コロナの感染もなかなか収まらないところではありますが、去年はたくさんの行事を実施することができ、子供たちは大きく成長することができました。今年も感染状況には充分気を付けながら、様々な体験ができるよう工夫してまいります。どうぞよろしくお祈りいたします。

荒川区では学校図書館の活用を力を入れていて、各学校で様々な工夫をした取組を行っています。本校でも1年間を通して学校図書館に関する様々な取組を行っており、目標を達成するともらえる読書バッジは子供たちがとても楽しみにしています。そのほか、一部ですが紹介させていただきます。



今年度の読書バッジ

○家読（うちどく）

夏休みと冬休み、10月の読書月間の年3回「家読」を実施しています。親子で同じ本を読んで感想を交換したり、別々の本を読んで感想を紹介し合ったりする取組です。この冬休みにもたくさんのご家庭で取り組んでいただきました。



○ブックフェスティバル

朝の時間を活用し、先生が子供たちに読み聞かせをします。学期に1回、1学期は担任が、2学期は担任以外が行いました。先生も毎回「どの本を読もうかな。」「どの本なら楽しんでもらえるかな。」とワクワクしながら選書をしています。

○読書の木と読書の森

貸し出し冊数に応じて2階の学校図書館にある「読書の木」に葉や花、実が飾られていきます。どんどん育っていく「読書の木」は、子供たちの励みになっています。また2階の職員室手前の廊下には「読書の森」が掲示してあります。各学級で取り組んだ「おすすめの本の紹介カード」の中で代表に選ばれた作品が飾られています。どの作品もとても上手で、カードを見ると思わず読んでみたいという気持ちになります。



○その他

東階段と西階段には先生方のおすすめの本の紹介カードが、2階の学校図書館前には図書委員さんのおすすめの本の紹介カードが、掲示してあります。先生方のおすすめの本はリストも配布され、5冊以上読むと特製のしおりがもらえます。そのほかにも、七中さんとの交流や「たんぽぽの会」によるお話コンチェルトなども実施しています。これからも、尾久西小の子供たちがもっとも「読書大好き」になれるような取組を考えていきたいです。